

## 独立行政法人原子力安全基盤機構の平成 25 年度における 原子力防災関連業務実績に係る意見（案）

評価結果	A（中期計画の達成に向け、優れた成果をあげている）
評価意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急時対策支援システムの維持改善を進めると共に、初動対応職員の確保や防災業務計画に沿った訓練を繰り返し実施する等、緊急時の即応体制維持に努めている点は評価できる。地方自治体、事業者の緊急時即応体制についても更に踏み込んで指導を強化していく必要がある。より厳しい複合災害を想定した訓練マニュアルの作成や訓練の実施、それらがもたらすシビアアクシデントに伴う避難についても要援護者への対応など含め検討する必要がある。</li> <li>・ ERSSの24時間監視体制の強化や、もんじゅで発生したERSSデータ伝送中断を速やかに検出したことは評価できるが、後者は同時にERSSデータ伝送系の脆弱性を示すことにもなっている。ERSSデータ伝送系の強化には、引き続き取り組む必要がある。</li> </ul>

※) 独立行政法人原子力安全基盤機構中期計画のうち、「I. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するために取るべき措置 3. 防災関連業務等」部分のみ。